

田中 聡 TANAKA, Satoshi

キーワード

日本中世 / 荘園 / 武士 / 都市 / 越後 / 佐渡 / 資料保存

分野等 歴史

email stanaka[at]nagaoka-ct.ac.jp ※ [at] を @ に変えてください



職名 教授

学位 修士(文学)

研究分野

日本中世史を専攻し、現在は主に越後・佐渡を中心とした地域史研究に取り組んでいます。

主な業績として、「南北朝・室町期における佐渡守護と本間氏」(『新潟史学』第66号、2011.10)、「佐渡への道、佐渡からの道」(中世都市研究会編『日本海交易と都市』山川出版社、2016.9)、「河村彦左衛門尉とは何者か」(『日本歴史』第855号、2019.8)、『分水町史』(共著、2004.3、2005.3)、『弥彦村誌事典』(共著、2009.3)、『知っておきたい新潟県の歴史』(共著、2010.2) などがあります。

また、『越後文書宝翰集』(国指定重要文化財、新潟県立歴史博物館所蔵)の調査研究に参加し、研究成果は、『越後文書宝翰集 古文書学入門』(共著、2007.3)、『越後文書宝翰集 三浦和田氏文書Ⅲ・河村氏文書・小田切氏文書』(共著、2022.3)などに集約されています。

近年は、専攻科科目「地域文化論」を拠点に、長岡の歴史研究にも力を入れています。2020・2021年度には、専攻科生とともに長岡市郷土史料館の展示図録の作成に取り組み、A4版52ページの原稿を郷土史料館にお届けしています。

興味のあること・技術 PR

上記の地域史研究の蓄積とともに、新潟県立文書館(古文書担当)での勤務経験をふまえて、以下のご相談に応じることが可能です。

古文書の解読や保存方法

地域の歴史の調査研究や歴史編さん

一般向け歴史講座の講師

地域資源としての歴史・文化の活用

歴史編さんについては、自治体史編さんのほか、長岡高専創立50周年記念誌『高志台の五十年』(2011.9)の編集責任者をつとめた経験があります。校史・社史をはじめとする各種記念誌の作成についてもご相談ください。



地域史研究の成果



専攻科生と長岡市郷土史料館を見学



長岡市郷土史料館の展示図録



長岡高専創立50周年記念誌

企業との連携実績

【歴史編さん事業】

新潟県の歴史に関する一般向け書籍の企画（新潟日報事業社）に編集統括として参画

県内の自治体史編さん事業（分水町・弥彦村）に調査執筆員として参画

【講座講師】

まちなかキャンパス長岡などの講座講師

FMながおかの番組「ふるさと歴史散歩」に講師として出演

【各種委員】

新潟県立文書館文書調査員

佐渡市文化財保護審議会委員

長岡東西道路橋梁名称選定委員会委員

地域の「宝」歴史・文化等のさらなる活用・伝承事業懇談会委員（長岡市）

企業へ向けて

研究分野の性格上、自治体との連携がほとんどとなっていますが、これを機会に新たな可能性が拓かれてゆくことを期待しています。



調査の様子（長岡市）



調査の様子（十日町市）



調査の様子（佐渡市）



講座の様子（長岡市）